

**「データに基づく政策形成・課題解決に係る検討委託」に関するプロポーザル
に係る提案書評価基準**

表1の評価項目及び重みづけのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

採点が同点の場合は、評価事項のうち、提案内容の評価点の合計点数で再評価を行い、受託候補者を特定します。

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	倍率	評価点
予定技術者の 経験及び 業務実施能力 (15点)	現場責任者	同種又は類似業務の実績について、本業務に生かすことのできる過去の実績があるか	15		×3	
提案内容 (85点)	実施方針	実施方針が的確で、業務説明資料との整合性が取れているか	10		×2	
	特定課題	本市の市政状況を踏まえ、政策課題を設定する際の視点が的確であり、設定手法が有効なものとなっているか。	15		×3	
		政策課題の要因分析、データに基づく主要な要因の推定及びロジックモデルを用いた解決方策の検討を行う際の視点が的確であり、かつ、分析、推定及び検討に係る手法が有効なものとなっているか。また、任意の課題に対する政策形成・課題解決の方策が、具体的かつ実現性の高いものとなっているか。	20		×4	
		行政機関の業務執行へ取り入れる際の課題及び解決に向けた視点が、行政機関の課題形成や課題解決の実態を理解した提案となっているか。	15		×3	
	業務内容を正確に理解しているか		15		×3	
	取組意欲が感じられるか		10		×2	
ワーク・ライフ・バランスに関する取組 (6点)	次の項目について1つ満たすごとに1点加算 <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員301人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 <input type="checkbox"/> よこはまグッドバランス賞の認定の取得		6		×1	
評価点の合計（106点満点）						

- (1) 予定技術者の経験及び業務実施能力は、A、B、Cの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容、ヒアリング内容は、A、A'、B、B'、Cの5段階評価を行う。
- (3) 予定技術者の経験及び業務実施能力、提案内容、ヒアリング内容の評価については、次のように点数化を行い、項目ごとの倍率を乗じ評価点を算出する。

評価	A	A'	B	B'	C
評点	5点	4点	3点	2点	0点

- (4) 男女共同参画に関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容、ヒアリング内容においてC評価のある者は原則として選定しない。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	A'	B	B'	C
予定技術者の経験及び業務実施能力	現場責任者	同種又は類似業務の実績について、本業務に生かすことのできる過去の実績があるか	複数の実績がある		実績がある		実績がない
提案内容	実施方針	実施方針が的確で、業務説明資料との整合性が取れているか	十分な理解に基づいた的確な提案である	理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
	特定課題	本市の市政状況を踏まえ、政策課題を設定する際の視点が的確であり、設定手法が有効なものとなっているか。	非常に的確な視点を持った有効性の高い優れた手法である	的確な視点を持った有効性の高い手法である	どちらともいえない	視点の的確性や手法の有効性がやや欠けたものである	視点の的確性や手法の有効性が欠けたものである
		政策課題の要因分析、データに基づく主要な要因の推定及びロジックモデルを用いた解決方策の検討を行う際の視点が的確であり、かつ、分析、推定及び検討に係る手法が有効なものとなっているか。また、任意の課題に対する政策形成・課題解決の方策が、具体性かつ実現性の高いものとなっているか。	非常に的確な視点を持った有効性の高い優れた手法であり、提案方策の具体性・実現性が非常に高いものである	的確な視点を持った有効性の高い手法であり、提案方策の具体性・実現性が高いものである	どちらともいえない	視点の的確性や手法の有効性がやや欠けたものであり、提案方策の具体性・実現性がやや欠けているものである	視点の的確性や手法の有効性が欠けたものであり、提案方策の具体性・実現性が欠けているものである
		行政機関の業務執行へ取り入れる際の課題及び解決に向けた視点が、行政機関の課題形成や課題解決の実態を理解した提案となっているか。	実態の理解度が非常に高く優れた提案である	実態を理解した提案である	どちらともいえない	実態の理解がやや乏しい提案である	実態の理解が乏しい提案である
		業務内容を正確に理解しているか	十分理解している	理解している	どちらともいえない	やや理解していない	理解していない
		取組意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	意欲がやや認められない	意欲が認められない
	ワーク・ライフ・バランスに関する取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。					